

熊本県 I様より

私も鰐が好きで象嵌鰐も、いくつか持っております。象嵌の特徴などの記事は大変、勉強になりました。ありがとうございました。

ありがとうございます。I様ほどの象嵌鰐が好きでしたか？是非とも収集された鰐を拝見してみたいです。中堀

お客様のコメント

前号(10月号)p2

福島県 M様より

ソフトバレーの優勝、愛娘のご誕生おめでとうございます。

私も男子二人、女子一人の子供がいますが、娘が一番かわいいです。(内緒)

ありがとうございます。父親としては、息子も可愛いですが、やっぱり娘は特別可愛らしく見えますよね。密かに、子供達が大人になったら一緒にお酒を呑みながら歴史話をしたいなと夢見ています。(笑) 花本

前号(10月号)p4



前号(10月号)p1

海外のお客様から

感激



祝福のお声を多数いただき、本当にありがとうございました!! どのメッセージも嬉しかったのですが、中でも僕がこころにグッときたのは、V様からいただいた

環ちゃんのパパが、日本の歴史・文化を海外に発信している大名の社長だということを、成長した時に誇りに思うでしょう。

V様より

というコメントでした。これを読んだとき、この仕事をして本当に良かったと思い、様々な思いとともに涙が出てきました。本当にありがとうございました。 花本

ご挨拶 2017年も「有限会社大名」を、ご愛顧下さり誠にありがとうございます。

今年も早いもので、残すところあとわずかになりました。皆様にとって2017年はどんな一年でしたでしょうか? 皆様が体調を崩さず笑顔で、2018年を迎えられます様に願っております。来年も引き続き「語ります!!大和魂」をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

年末に一句 雪降りて 大名を見る 炬燵かな (一茶の句アレンジ)

意味) 冬の寒い一日、炬燵でくつろぎながら大名のニュースレターを見る。ああ、なんと幸せな年末だなあ。



今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せくださいお待ちしております

件名:ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



最新情報はホームページ <http://daimyou.com/>

広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp

TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

有限会社

大名

届けます!! 大和魂 2017年12月 Vol.21

—経営理念—

有限会社大名は「届けます!!大和魂!」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

—目次—

- 1.ご挨拶: 花本(はなもと)
- 2.尾道灯りまつりへ行ってきました!! 中堀(なかつぼり)
- 3.語ります大和魂 島谷(しまたに)
- 4.ハナエモンの明治維新にタ〜イムスリップ!! 花本(はなもと)
- 5.お客様のコメント 花本・中堀 (はなもと・なかつぼり)

こんにちは中堀明美です

「尾道灯りまつり」へ行ってきました~!!

嘉応元年(1169)年に開港した尾道は、穏やかな“みなと”と共に発展していきました。この発展で財力を得た商人の寄付により、最盛期では81の寺が造営されたそうです。海岸沿いには常夜灯(とうみやう)があり、その灯りはそれぞれの寺まで続いていました。当時の帆船は、その灯りをめざして入港していたそうです。「尾道灯りまつり」は、当時の尾道を再現し、“癒しのまち尾道”として2003年から始まりました。市内の小中学校の児童・生徒らが、将来の夢や願い事をぼんぼりに込め、各お寺へと続く参道や海岸沿いに奉納します。子供達に地域の歴史・文化・伝統を知ってもらい、自分の街に誇りを持ち、いつまでも尾道を楽し、大切にしてほしいという大人たちの願いが込められています。



常夜灯

お寺まで続くぼんぼりの灯り

今回、大志(息子)のぼんぼりが西園寺に飾られているとの事だったので探しに行きました! 因みに…大志の夢はサンフレッチェのサッカー選手になる事だそうです。一緒にサッカー教室に通っているお友達と一対の絵として二人でサッカーをしている所を描いたそうです。とても可愛らしくて、本当に心が癒されました。夢が叶えられるように、母ちゃんは全力で応援しようと灯りに誓いました。

探しに行く途中…



途中にあるレンガ坂

子供達の夢や希望が描かれています

灯りを見て喜ぶ、娘の叶笑

大志のを発見!



お友達の→

大志です



頑張れ大志!!

子供達の夢が叶いますように!!

10月の行事ではありますが、皆様も機会があれば是非とも来年の尾道の「灯りまつり」へ足を運んでみてください。心地よく揺れる灯りに癒される事間違いありません…!! 尾道の行事の中でも自信を持ってお勧め致します! そして…来られた際には、ふら〜っと、当社にも遊びに来て頂けると、とっても嬉しいです!! スタッフ一同お待ちしております!!

こんにちは、島谷貴子です。

色んな種類がある鍔ですが、今号では「透かし鍔」について語らせていただきます。


いつから流行?

室町末期～桃山時代、刀匠鍔・甲冑師鍔に新しい技法を加えたのが、鍔工の一派「正阿弥」です。従来の「影透(文様をくり抜いて透かす)」を「地透(文様を残して地鉄を透かす)」に変化させていきました。全国各地から職人たちが集まり、修得した技術を自分の地域に持ち帰り、さらに独自の鍔が生まれていきました。



「京透鍔」「尾張透鍔」の違い…

透かし鍔の中でも有名な二つですが、違いを見極めるのが難しいと言われています。どこが違うのでしょうか?

	製作地と特徴	耳	切羽台・櫃穴
京透鍔	 <ul style="list-style-type: none"> ・繊細(透かしの線がほそい) ・透しを鍔全体に施している ・植物や巴や波のデザインが多い ・鉄色は鍛錬された地鉄 ・厚みはやや薄手 <p>製作地: 山城国(現: 京都府)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 角耳 Kaku-Mimi 丸耳 Maru-Mimi 土手耳 Dote-Mimi  <p>角耳小肉 *小肉 角耳の耳に少し丸みがあるもの</p>	 <p>共に薄く、縦長、線が細い</p>
尾張透鍔	 <ul style="list-style-type: none"> ・透かしの線が京透より太く ・武骨で力強い ・透かしと耳の密接している部分も京透より太く、がっちりしている。 ・上下、左右対称の物が多い ・切羽台が耳の厚みより薄い ・鉄色は鍛錬された黒紫色の地鉄 ・厚みは京透より厚い <p>製作地: 尾張国(現: 愛知県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 鋤残し耳 Suki-Nokoshi-Mimi 鋤残し耳 Uchikaeshi-Mimi  <p>角耳</p>	 <p>ごつく、丸みがある</p>

特徴を失っていく…

戦も落ち着き、刀の装飾品として変化していきます。鑢工達も、大名や富裕層達の好みのデザインに傾倒していき製作にも絵師たちのデザイン等が取り入れられたりするなど、斬新で豪華絢爛なものに変貌していきました。

伝統と格式の都と呼ばれる京都で作られたからこそ、実戦用にも関わらず、繊細で丁寧な仕事の「京透鍔」。刀の一大生産地だった美濃の隣で、実戦第一に作られていた「尾張透鍔」だからこそ武骨で力強い。江戸以降、それぞれの特徴もほかの作風と混ざってしまい、失われてしまいました。その為、見分けるのが難しいということが分かりました。私はゴツゴツした男らしい「尾張鍔」が、当時の武士たちを思い浮かべることができるので好きです。

「私はこの鍔のオが好きだな、なぜなら～」等のご意見、ぜひお聞かせください。どしどし返信お待ちしております。



語ります 大和魂



ハナエモンの

明治維新にタイムスリップ!



こんにちは!ハナエモンが33歳ということで、この1年間、歴史上の人物が33歳だった頃にタイムスリップしてきました。今号はこの方の33歳の頃にタァ〜イムスリップ!

女遊びが過ぎて、明治天皇に叱られた 初代内閣総理大臣

伊藤博文

いとう ひろぶみ



明治六年政変(1873年)で、政府首脳半数と軍人、官僚が約600人、辞職をしました。この政変が後の西南戦争などの士族の反乱に繋がっていきます。西南戦争で維新三傑(本紙Vol.18、8月号参照)が相次いで亡くなったことで、明治新政府の中心的人物になっていきました。この時、32歳です…。12年後の1885年に、日本最初の内閣を発足し、初代内閣総理大臣に就任しました。44歳での就任は歴代最年少です。第一次内閣は約2年半の期間でしたが、その後の日本の発展に大きく貢献しました。その後、5代(50~54歳)、7代(56歳)、10代(59歳)の総理大臣も務めています。

女好きとしても有名で、エピソードも沢山残っています。



- 一. 女遊びが過ぎて、「ほうき」というあだ名。掃いて捨てるほど女がいるという意味だそうです。
- 二. 2人目の妻として迎えた梅子は元芸者です。寛大な妻のおかげで再婚後も芸者遊びはお盛ん。
- 三. 芸者2人と川の字での就寝
- 四. 女遊びの話が天皇の耳にまで届き、「少し謹んでは」とたしなめられるが…、「とやかく言う者もいますが、その連中の中には女を困っている者もいます。私は芸者としてしか遊んでおりませぬ。」

財産を残したいと思わない。骨董収集、歌舞音曲の趣味もない。ただ公務の後に芸者と遊ぶのが唯一の楽しみだ!!!

と、公言した。



こんなエピソードもあります。

当時、神奈川県の大磯町には政界の大物の別邸が多く建っていたそうです。そんな町を歩いている総理大臣経験者2人の様子です。日本陸軍の基礎を築いたと云われ、第3代、9代の総理大臣を務めた、山縣有朋は護衛付きで散歩。対して、伊藤は一人着物の尻を端折った姿で歩いていたりし、誰にでも声を掛けていたので、地元の人からも「テイショウ(大将)」と声を掛けられていたそうです。仕事はきっちり、遊びもしっかり、それでいて偉ぶらない、人間味溢れる伊藤博文さんですね。モテモテな男は違いますね~!

着物の尻を端折った姿

30代には人生の大きな転機が訪れるのかもしれませんが。その転機を活かせるように、しっかり準備しておくことが大事だと感じました。何をしたいのか? 何のために、生きていくのか? 何を一番大事にするのか? 改めて、自分に問いかけるキッカケになりました。日本の伝統文化を発信し、お客様に喜んで頂き、そして自分自身もしっかりと楽しんでいきたいと思っております!

